

(別記様式第11号)

令和2年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

上田市

	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫被害木処理事業
事業費 3,524 千円 (うち支援金: 3,524 千円)		

事業目的

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田市では守るべき松林を絞り込み、伐倒くん蒸等で松くい虫被害の対策を行っているが、補助対象区域外でも松くい虫被害は発生しており、放置しておくとするべき松林への被害の拡大を招く恐れがある。また、道路、建物、墓地等の構造物周辺への発生も多く、対応に苦慮しているところである。

(2) 本事業の目的

補助対象区域外で発生している松くい虫被害木のうち、守るべき松林への被害拡大防止のための伐倒処理等や、倒木時に構造物等に被害が出る可能性がある松くい虫被害木の伐倒処理等を行う。

事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 上田市一円

(2) 対象者 上田市

(3) 実施方法 伐倒駆除等

(4) 事業目標及び当年度事業量

全体計画(平成30~令和4年度)

令和4年度までに755本の松くい虫被害木の伐倒駆除等。

令和2年度実績

松くい虫被害木88本の伐倒駆除等。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

守るべき松林への被害拡大の防止、松くい虫被害木の倒木による事故等の防止。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

例年実施している事業であり、松くい虫被害の対策として継続的に行っていく必要がある。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

住民要望に基づいて実施する事業のため、普及性は担保されている。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

本年度は88本の伐倒駆除等を行い、松くい虫被害拡大や倒木等による事故の防止に効果があった。松くい虫対策事業を継続して実施していることもあり、年々伐採本数は少なくなってきており、通算の伐倒駆除等の本数は416本である。

(2) 課題

伐採量は減ってきているが、松くい虫被害木は依然として発生しているため、継続して対策を続ける必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

令和3年度以降も、松くい虫被害を防止するため、当支援金を活用していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(別記様式第11号)

令和2年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	上田市
------	-----

	事業項目	事業名
2	木を活かした力強い産業づくり	地域産材活用事業
事業費 539 千円 (うち支援金: 539 千円)		

事業目的

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田市は5,900ha余りの山林所有者であり、市有林整備については毎年計画的に森林整備を進めているが、私有林については適切な森林整備が実施できていない状況にある。

(2) 本事業の目的

県産材を利用した木製ベンチを市施設に設置し、市民等に対して県産材の普及、啓発を行う事で森林の有する多面的機能の周知や、森林施業への意欲を持ってもらう。

事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 武石地域総合センター ほか6施設

(2) 対象者 上田市

(3) 実施方法 木製ベンチの設置

(4) 事業目標及び当年度事業量

全体計画(平成30~令和4年度)

令和4年度までに木製ベンチ30基の設置。

令和2年度実績

木製ベンチ9基の設置(累計27基)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

県産材を利用した木製ベンチと解説パネルを併せて設置することで、県産材の有効活用と普及啓発を図ることができる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

多くの住民が訪れる市施設に設置することで、継続的に県産材に触れてもらい、事業効果が得られる。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

木製ベンチを設置することで、老若男女問わず利用することができ、普及効果は大きい。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

令和4年度までの目標に対し今年度は9基のベンチを設置し、県産材の有効活用及び普及啓発を図ることができた。

(2) 課題

設置した木製ベンチの維持管理についての検討が必要。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

要望を頂いていてもまだ設置できていない箇所があり、来年度からも継続していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第11号)

令和2年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	上田市
------	-----

	事業項目	事業名
3	森林を支える豊かな地域づくり	別所温泉森林公園整備事業
事業費 891 千円 (うち支援金: 484 千円)		

事業目的

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

近年、森林に対する住民の意識・価値観が多様化し、林業生産のみならず森林の有する公益的機能(森林レクリエーション等)が求められることから、市民のニーズに合わせた森林整備が必要とされている。

(2) 本事業の目的

別所温泉森林公園は、市町村を超える広域的な森林レクリエーションの場として整備された。しかし、年数が経ち施設の老朽化がみられることから、安全性を確保し継続して森林レクリエーションの場を提供することを目的として、施設の修繕整備を行う。

事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 上田市別所温泉森林公園

(2) 対象者 上田市

(3) 実施方法 老朽化した防護柵等の修繕整備

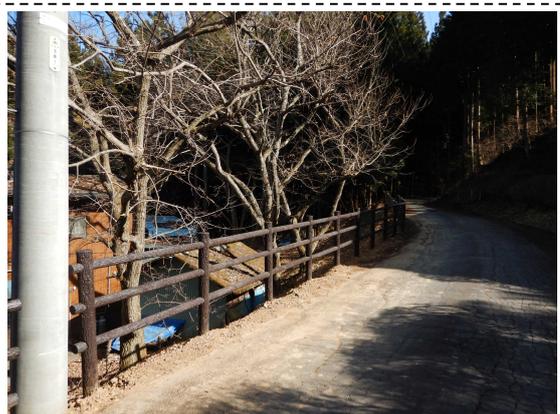
(4) 事業目標及び当年度事業量

全体計画(令和2~4年度)

令和4年度までに老朽化した防護柵等を修繕整備。

令和2年度計画

老朽化した防護柵の修繕 21m。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

別所温泉森林公園は、コテージや散策路等が整備されており住民へ森林レクリエーションを提供する重要な場所となっている。老朽化した施設の修繕で、引き続き住民へサービスを提供することができる。

(2) 継続性

老朽化した施設を修繕することで安全性を確保でき、継続的に森林レクリエーションの場を提供することができる。

(3) 普及性

市町村を超えて利用される場所であるため、多くの人が森林レクリエーションを体験できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

老朽化した防護柵の修繕を行い安全性を確保することができたため、継続的に多くの人へ森林レクリエーションの場を提供することができた。

(2) 課題

全体的に老朽化しているため、施設の維持管理についての検討が必要。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

施設の整備を行っていくうえで、地元材の使用についても検討していきたい。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)